

三ノ峰周辺のアザミウマ類 (2021 年の記録)

柴田智広*¹

要旨：著者は 2020 年に引き続き 2021 年の夏季に三ノ峰周辺に生息するアザミウマ類を調査した。本報では調査の結果新たに得られた 5 種のアザミウマを報告する。

キーワード：三ノ峰, アザミウマ類

Tomohiro SHIBATA *¹. 2023. Thrips around Mt. Sannomine (records of 2021). Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center) 26:79-82.

Five thrips species collected around Mt.Sannomine 2020 were newly listed.

Key words: Mt.Sannomine, thrips

はじめに

アザミウマ類は体長 0.8~7mm 程度の昆虫で低地から高山までの花・葉・茎・根などの植物組織上, 森林などの堆葉層, 枯葉・枯枝など枯死植物上, キノコなどに棲息し, 現在日本に 4 科 450 種以上が知られている (岡島・榎本, 2022)。福井県では福井県昆虫目録に 3 種が報告されているのみであった (岸本・佐々治 1998) が, 著者はその後の調査で福井県産のアザミウマ 58 種 (未同定 7 種含む) を報告した (柴田 2015, 2016a, 2017a, 2019, 2020, 2022)。しかしこれまでの調査は主に平野部で行われており, 山岳域の調査は少ない。

三ノ峰 (標高 2,138m) は石川・富山・福井・岐阜県にまたがる白山山系の 2,000m を越す山嶺の南端に位置し, 日本の 2,000m を越す山の中では最も西に位置している。山頂からやや南に下った三ノ峰避難小屋周辺が福井県で最も標高の高い地域となっている (標高 2,095m)。三ノ峰の所属する白山の高山帯は日本の高山帯の最西端となるため, 多くの北方系植物がこの地域を分布の西限もしくは南限としている (福井県自然環境保全調査研究会監修 1999, 渡辺 2003)。植物に限らず昆虫も本地域を分布の西限としているものが多い (福井県自然環境保全調査研究会 1985, 福井県安全環境部自然環境課 2016)。近年, 日本各地で急激な気温上昇が原因と考えられる異常気象が観測されていて (桐谷・湯川 2010), その影響は三ノ峰のような高山において特に大きいと

考えられる。高山では分布の限られた植物を寄主とする昆虫は寄主植物が減少すると逃げ場がなく絶滅する可能性が高い (桐谷・湯川 2010, 松岡ら 2020)。このように高地の生態系は脆弱で変化しやすく, 今のうちに現状を把握する必要がある。そのためには生態系を構成する動物の分布や生息状況の情報が不可欠である (松岡ら 2020)。

著者は三ノ峰におけるアザミウマ相を解明し, その現状を把握することを目的として 2020 年から調査を行っている。本報では 2021 年の調査の結果を報告する。

調査地と調査方法

調査は 2021 年 7 月 24 日と 9 月 10 日の 2 回, 標高 1420m の六本檜から標高 1671m の剣ヶ岩に至る登山道沿いにて実施した。六本檜周辺にはブナ林, 剣ヶ岩周辺にはダケカンバ林, 高山草原が広がる。また調査ルートを通じていたところにイネ科植物と花をつけた草本類が生育している。調査は上記のルートを歩きながらアザミウマの生息環境を見つけて行った。

採集はビーティング法 (受け具は枯れ枝には大型の布を, 草や花には小型のプラスチックトレイを用いた) とルッキング法 (花の中にいるアザミウマを探し小型の絵筆で掬い取る) で行った。得られたアザミウマは管瓶に入れて持ち帰った。

採集した日のうちに管瓶に二酸化炭素を注入してアザミウマを麻痺させ, 実体顕微鏡下で体色を観察

* 連絡・別刷請求先 (Corresponding author) E-mail: bactrothripsbrevitubus@gmail.com

¹ 福井市自然史博物館友の会〒918-8006 福井県福井市足羽上町 147

Friendship Society of Fukui City Museum of Natural History, Asuwakami-cho 147, Fukui, Fukui 918-8006, Japan.

すると同時に体色の記録を残すため写真を撮影した(同定の際に体色の情報の記録とするため)。その後、永久プレパラート標本を作製し光学顕微鏡を用いて同定した。標本作製方法は基本的に Okajima (2006) に従った。同定は、クダアザミウマ科は Okajima (2006) アザミウマ科は Masumoto (2009)、Masumoto (2014) に従った。標本の一部は横浜植物防疫所の榎本雅身博士に送り鑑定していただいた。なお、調査地は白山国立公園特別保護区に含まれているため、調査の実施に際し、環境省中部地方環境事務所国立公園課長より許可を得た(環中地国許第2106211号)。

標本はすべて著者が採集・保管している。

結果

今回の調査を通して三ノ峰周辺からアザミウマ科5種が新たに記録された。その内3種は福井県初記録であった。福井県初記録の種については採集地・採集場所とともに分布情報を示す。種名は基本的に学名で示し和名のあるものには和名を付した。分布情報及び和名については榎本(2016)を参考にした。また、同定者に断りのない種については著者による同定である。

Thripidae アザミウマ科

Sericothripinae セリコアザミウマ亜科

Neohydatothrips ponyaunpe (Kudo)

六本檜周辺:10exs.,24.VII.2021。(図1)
稜線上に生えたコブシの若木から得られた。
福井市内にも普通。

Thripinae アザミウマ亜科

Stenchaetothrips pleioblasti

Masumoto et Okajima

六本檜周辺:10♀,24.VII.2021。(図2)
分布:本州・小笠原(父島)
ササ類に普通。本調査ではリョウブの花から得られた。
福井県初記録。

榎本博士同定。

Thrips griseus Bagnall

六本檜周辺:10♀,24.VII.2021。(図3 プレパラート標本)

分布:本州

本州に広く分布し、アザミの花に普通。本調査ではリョウブの花から得られた。福井県初記録。
榎本博士同定。

Thrips typicus Masumoto et Okajima

六本檜周辺:10♀,24.VII.2021。(図4)

分布:本州

山地に広く分布し、各種花に普通。
本調査ではリョウブの花から得られた。
福井県初記録。
榎本博士同定。

Yoshinothrips pasekamui Kudo

六本檜:1♀,10.IX.2021。(図5)

カリヤスから得られた。福井市内でも普通。

考察

今回の調査を通じて三ノ峰周辺から5種のアザミウマが新たに得られた。このうち *Thrips typicus* は山地性と思われるが、他の4種は平地にもみられ平地から高山まで幅広い生息域を持つものと考えられる。

以下、2点特記事項を挙げる。

①2020年・2021年の調査を通じて食菌性のクダアザミウマ科は採集されていない。しかし今回の調査で六本檜周辺のブナ林からクダアザミウマ科と思われる幼虫が枯枝から採集された(図6)。個体数は少ないものの食菌性クダアザミウマ科は棲息していると思われる。

②榎本博士の鑑定によると2022年に *Phlaeothripidae* sp.として報告したアザミウマ(図7)は *Liothrips* sp.であるとのことであった。ただし、寄主植物が確定しないため種名まで同定できていない。今後調査すべき課題である。

今後は三ノ峰周辺での調査を継続するとともに県内の他の山域を調査し、確認された種の分布範囲を



図1 *Neohydatotrips ponyaunpe*.



図2 *Stenchaetothrips pleioblasti*.

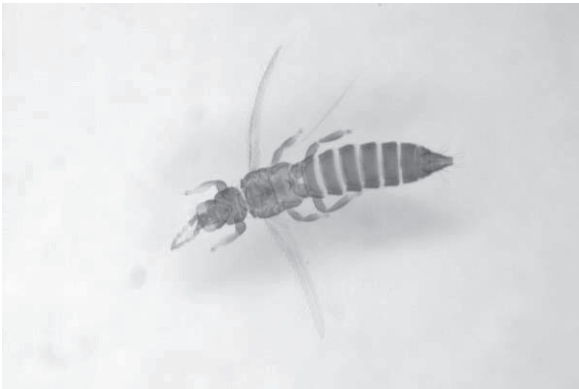


図3 *Thrips griseus* (プレパラート標本).



図4 *Thrips typicus*.

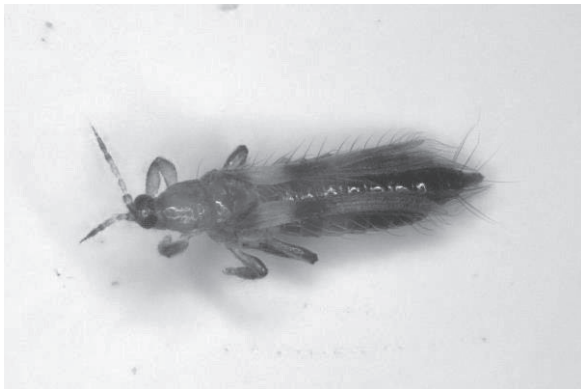


図5 *Yoshinothrips pasekamui*.



図6 クダアザミウマ科幼虫.



図7 *Liothrips* sp..

精査する。また、未同定の種について詳しく調査していく予定である。

謝辞

本稿を取りまとめるにあたり、福井市自然史博物館の梅村信哉氏には白山国立公園特別保護地区における捕獲・殺傷許可申請をしていただくとともに、調査にご協力いただいた。横浜植物防疫所の柗本雅身博士にはアザミウマの同定調査に関して有益なご助言をいただいた。福井県自然保護センターの五十川祥代氏は、本稿の投稿にあたり、様々な便宜を図ってくださった。以上の方々には心より御礼申し上げる。

引用文献

- 福井県安全環境部自然環境課（編）. 2016. 改訂版福井県の絶滅のおそれのある野生動植物. 福井県安全環境部自然環境課, 福井.
- 福井県自然環境保全調査研究会（編）. 1985. みどりのデータバンク総括報告書. 福井県, 福井.
- 福井県自然環境保全調査研究会（監修）. 1999. 福井県のすぐれた自然（植生編）. 福井県県民生活部自然保護課, 福井.
- 桐谷圭治・湯川淳一（編）. 2010. 地球温暖化と昆虫.
- 岸本修・佐々治寛之. 1998. アザミウマ目 THYSANOPTERA. 福井県自然環境保全研究会昆虫部会編 福井県昆虫目録第2版. 福井県県民生活部自然保護課, 福井. pp. 63.
- Masumoto, M. 2009. Taxonomic study of Japanese Thripinae (Thysanoptera, Thripidae), with consideration of supra-genetic relationships based on morphological characters. Doctoral thesis. Tokyo University of Agriculture, Tokyo, pp 671.
- 柗本雅身・箕浦和重. 2014. わが国で新たに発見された *Neohydatothrips medius* Wang (アザミウマ目, アザミウマ科)及び日本産 *Neohydatothrips* 属種への検索表. 植物防疫所調査研究報告.50:111-118.
- 柗本雅美. 2016. Order THYSANOPTERA 総翅目 (アザミウマ目). 日本昆虫目録編集委員会編 日本昆虫目録第4巻準新翅類. 権歌書房, 東京. pp. 44-85.
- 松岡憲知・泉山茂之・樽本正明・松本潔（編）. 2020. 山岳科学. 古今書院, 東京.
- 岡島秀治・柗本雅身. 2022. 日本原色アザミウマ図鑑. 全国農村教育協会.東京.
- Okajima, S. 2006. The Insect of Japan Vol.2: The Suborder Tubulifera. Touka Shobo, Tokyo.
- 柴田智広. 2015. 福井県産オオアザミウマ亜科の分布記録. 福井市自然史博物館研究報告 62:81-82.
- 柴田智広. 2016a. 福井県産土壌性アザミウマの分布記録. 福井市自然史博物館研究報告 63:85-86.
- 柴田智広. 2016b. 福井県産 *Hoplothrips* 属3種の記録. 福井市自然史博物館研究報告 63:87-88.
- 柴田智広. 2017a. 足羽三山周辺のアザミウマ. 福井市自然史博物館研究報告 64:63-68.
- 柴田智広. 2017b. ヨツコブトゲクダアザミウマのササ類からの採集記録. 福井市自然史博物館研究報告 64:93-94.
- 柴田智広. 2019. 足羽三山周辺のアザミウマ 補遺1. 福井市自然史博物館研究報告 66:85-88.
- 柴田智広. 2020. 坂井市三国町における *Ethirothrips antennalis* の採集記録. 福井市自然史博物館研究報告 67:87-88.
- 柴田智広. 2022. 三ノ峰周辺のアザミウマ類. 福井県自然保護センター研究報告. 25:43-49.
- 渡辺定路. 2003. 福井県植物誌. 福井新聞社, 福井.